

ごみ処理手数料の適正化（案）に関する市民説明等について

1. 市民説明について

開催日	会場	参加人数
4月21日（水）	町内会連合会理事会	約20名
4月26日（月）	市議会民生常任委員会報告	—
5月21日（金）	町内会等への回覧文書発送	—
6月16日（水）	YouTubeに動画掲載、市ホームページで意見受け、報道機関へ情報提供	(R3.7.8現在) 動画視聴回数 168回 意見受付件数 18件
市民説明会（参加者：延69名）		
6月28日（月）	白鳥台集会所	12名
6月29日（火）	サンライフ室蘭	13名
6月30日（水）	市民会館	9名
7月1日（木）	生涯学習センターきらん	18名
7月2日（金）	室ガス文化センター	17名

※上記のほか、電話等による問合せあり。

2. 意見等について

【ごみ処理手数料単価について】

- ・町内会でも話し合っているが、3円/リットルはやむを得ない。
- ・算定結果どおり4.1円/リットルに設定すべきではないか。

【指定ごみ袋について】

- ・ごみ袋を買い溜めしており6月末までには使い切れない。交換等について検討してほしい。
- ・1袋10枚単位では大きいサイズの購入金額が高くなり大変。ばら売りをしてほしい。
- ・他の自治体では差額分のステッカーを旧ごみ袋に貼付けるようにしているところもある。
- ・ごみ袋の変更で余計に費用がかかると思うので、変更する必要はない。

【ごみステーションの集約について】

- ・ごみステーションの集約にあたっては高齢者への配慮をお願いしたい。
- ・町内会で管理しているごみステーションは少ないと感じる。地域内でトラブルにならないように、実態を把握した上で、市民が納得するよう慎重に進める必要がある。
- ・ごみステーションが多くて収集作業員が苦勞している。効率化に向けて対策が必要。
- ・町内会未加入者の対応も検討してほしい。
- ・ごみステーションを増やさない仕組み作りが必要。

【ごみ減量等の啓発について】

- ・ごみの排出量を削減するための支援（コンポストなど）を実施してほしい。
- ・生ごみ処理機を買っても使わない人が出てくる。生ごみ処理施設を建設してはどうか。
- ・「生ごみのひとしぼり運動」など、市民のごみ減量に関する意識付けが必要。
- ・将来を担う子どもたちへの周知啓発が必要。教育委員会と連携した取り組みを。

- ・啓発の内容が伝わってこない。
- ・適正分別を推進してほしい。
- ・分別区分を増やしてリサイクルを推進するべき。
- ・広報紙や出前講座での周知以外に、説明会を開催してはどうか。

【その他】

- ・費用削減とともに収集作業員の待遇改善が必要。

3. 市民意見を踏まえた適正化（案）について

項目	内容
単価	令和4年4月から3円/リットルに改定する
新しい指定ごみ袋とごみ処理券	<p><方向性></p> <p>【サイズ】新たに5リットルの指定ごみ袋を作製</p> <p>【色、デザイン】 燃やせるごみ・燃やせないごみ共通、広告の導入（ごみ袋、包装袋）</p> <p>【材質】裂けにくい素材、バイオマス原料</p> <p>【販売形態】ばら売り推進</p>
現在の指定ごみ袋とごみ処理券	<ul style="list-style-type: none"> ・指定ごみ袋は6月末まで、ごみ処理券は4月末まで使用可能 ・「燃やせないごみ」「プラスチック製容器包装」が使い切れない場合は4から6月まで「燃やせるごみ」として使用可能 ・使用期限後に余った指定ごみ袋とごみ処理券は、差額分を支払うことで新しいごみ袋と交換する（令和4年5月から令和5年3月を予定）
その他	電動生ごみ処理機等の購入助成制度を検討